

# 草津市新クリーンセンター運転管理等業務

## 落札候補者選定結果及び審査講評

平成29年6月

草津市新クリーンセンター運転管理業者選定委員会

草津市（以下「市」という。）では、既存のごみ焼却施設が老朽化したため、平成 30 年 3 月の稼働を目標にごみ焼却施設等の更新整備工事が実施されている。

工事事業者とは、平成 27 年 3 月 26 日に建設工事請負契約が締結され、平成 28 年 2 月より現場において更新整備工事が開始されている。

また、工事完成後の新施設については、施設全体の運転管理等を包括的に、長期間にわたり民間事業者に委託する方針とされており、総合評価一般競争入札によって落札候補者を選定することされた。

なお、落札候補者選定にあたっては、公平性、公正性を確保するため、「草津市新クリーンセンター運転管理業者選定委員会」（以下「選定委員会」という。）を設置され、平成 28 年 8 月 1 日に第 1 回の委員会を開催し、その後、計 3 回の委員会を開催して募集要項や選定基準等についての審査を進めてきた。

平成 29 年 1 月 23 日付の「草津市新クリーンセンター運転管理等業務」の入札公告に対して 2 者から応募があり、うち 1 者から技術提案書及び業務概要書が提出された。これを受け、選定委員会は、第 5 回及び第 6 回の選定委員会を開催し、提出された技術提案書及び業務概要書の審査を行った。その結果、応募者から提出された技術提案書及び業務概要書は、草津市が求める要求水準を超えた、最新技術に基づく高度かつ創意工夫に富んだ優れた内容であった。

この技術提案書及び業務概要書の作成にあたっては、応募者は多大な時間と労力を必要としたと推測される。ここに応募者の熱意に深く感謝の意を表したい。

この度、選定委員会は、技術提案書及び業務概要書の内容を詳細に至るまで精査し、落札候補者を選定したので、ここに審査講評として取りまとめ報告する。

平成 29 年 6 月 14 日

草津市新クリーンセンター運転管理業者選定委員会

委員長	吉原 福全
委員	荒井 喜久雄
委員	金谷 健
委員	田中 正志

## 目 次

I.業務内容等 .....	1
1. 業務内容 .....	1
1.1 業務名称 .....	1
1.2 業務の目的.....	1
1.3 業務実施場所 .....	1
1.4 施設概要 .....	1
1.5 業務概要 .....	1
1.6 業務期間等.....	2
2. 落札者の選定方法.....	3
2.1 選定までの流れ .....	3
2.2 選定委員会の設置.....	3
II.審査方法等 .....	4
3. 入札参加資格審査.....	4
4. 非価格要素審査 .....	4
4.1 基礎審査 .....	4
4.2 審査項目と配点 .....	4
4.3 審査における評価の視点.....	5
4.4 非価格要素点の算出方法.....	5
5. ヒアリング .....	6
5.1 ヒアリング実施日時 .....	6
5.2 ヒアリングの内容.....	6
6. 価格要素審査 .....	6
6.1 価格要素点の算出方法 .....	6

7. 総合評価値の算定 .....	6
Ⅲ.選定の経過及び審査結果 .....	7
8. 選定の経過 .....	7
9. 審査結果 .....	8
9.1 入札参加資格審査 .....	8
9.2 基礎審査 .....	8
9.3 非価格要素審査 .....	9
9.4 価格要素審査 .....	10
9.5 総合評価及び落札候補者の選定 .....	10
Ⅳ.審査講評 .....	11
10. 審査講評 .....	11

## I.業務内容等

### 1. 業務内容

#### 1.1 業務名称

草津市新クリーンセンター運転管理等業務（以下「本件業務」という。）

#### 1.2 業務の目的

本件業務は、受託者として選定された単体企業または企業グループ（以下「受託者」という。）が本件業務における対象施設（以下「本施設」という。）に搬入される一般廃棄物について草津市新クリーンセンターにおいて適正に処理することを目的とする。

#### 1.3 業務実施場所

草津市馬場町 1200 番 25 他

#### 1.4 施設概要

##### (1) 管理者の名称

草津市長 橋川 渉

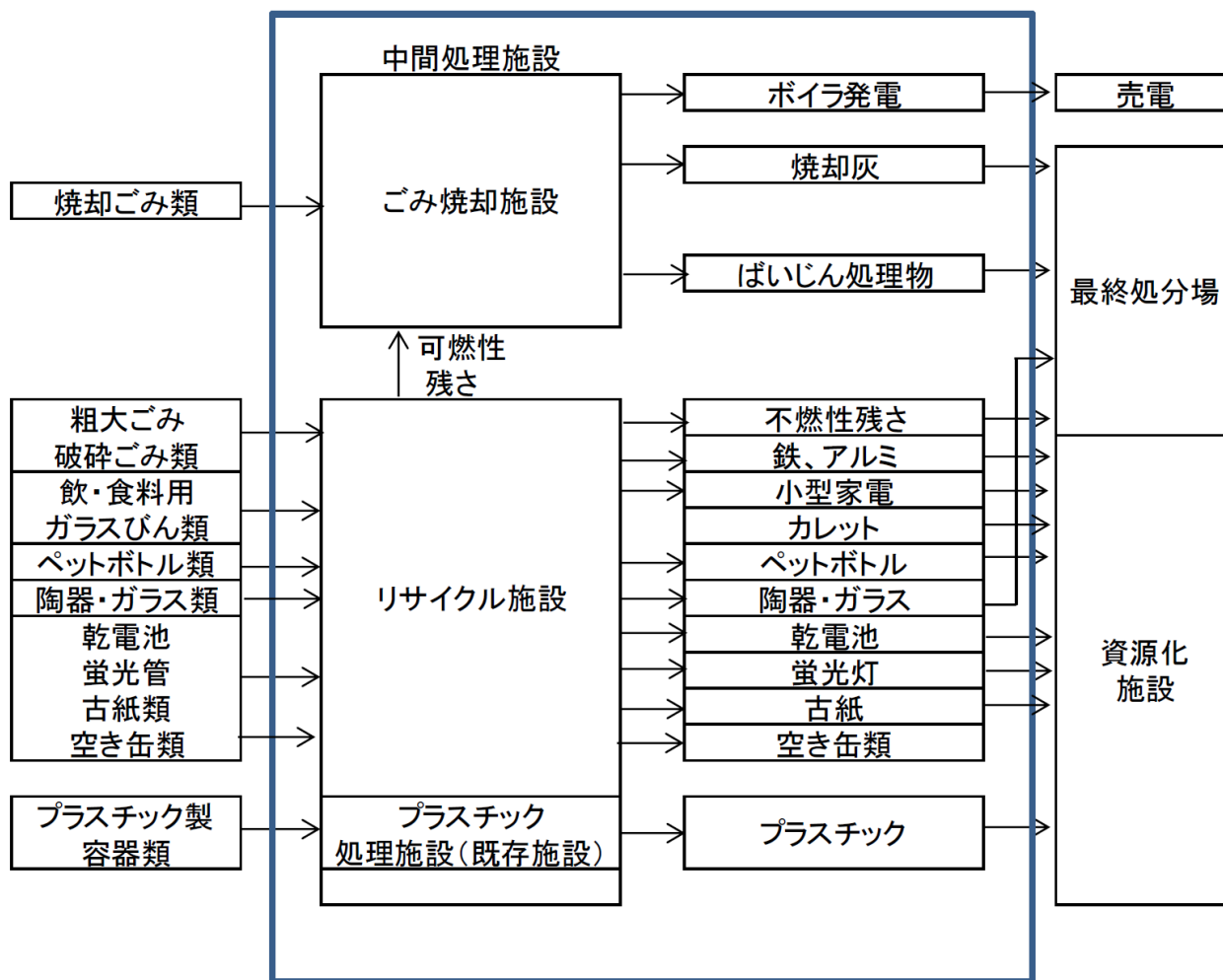
##### (2) 本施設の概要

表 1.1 本施設の概要

ごみ焼却施設	処理方式:全連続燃焼式ストーカ炉 処理能力:127t/日(63.5t/24h×2炉) 発電出力:3,100kW
リサイクル施設	処理対象物:びん、粗大ごみ、破碎ごみ、 プラスチック製容器類、ペットボトル、 陶器・ガラス 処理能力:破碎ライン 4.5t/5h びん類ライン 4.0t/5h プラスチックライン 9.0t/5h ペットボトルライン 1.5t/5h 陶器・ガラス類ライン 3.8t/5h ストックヤード:乾電池、蛍光管、古紙等 管理・啓発棟:啓発施設、市民活動施設、 市事務所棟を含む全て
その他関連施設	敷地内のその他施設(緑地、外構等を含む)

#### 1.5 業務概要

本件業務は、本施設に関する受入管理、運転管理、用役管理、維持管理、環境管理、資源物管理、情報管理、その他関連業務を含む。本件業務の範囲は図 1.1 に示す。



※ □の枠内が本件業務の範囲である

→ : ごみおよび資源の流れ

図 1.1 本件業務の範囲

## 1.6 業務期間等

業務準備期間、乖離請求期間、運転管理期間及び本件業務期間は、次のとおりとする。

- 業務準備期間 : 平成 29 年 10 月 1 日 (予定) ~ 平成 30 年 3 月 15 日
- 乖離請求期間 : 平成 30 年 3 月 16 日 ~ 平成 31 年 3 月 15 日
- 運転管理期間 : 平成 30 年 3 月 16 日 ~ 平成 45 年 3 月 15 日
- 本件業務期間 : 契約締結日 ~ 平成 45 年 3 月 15 日

## 2. 落札者の選定方法

### 2.1 選定までの流れ

市は、総合評価一般競争入札により、入札に参加する単体企業または企業グループ（以下、「応募者」という。）の中から落札者を選定し、必要な契約を締結する。

落札者選定の際には、選定委員会があらかじめ設定した「落札者選定基準書」に従って技術提案書等（技術提案書、価格提案書、業務概要書）を審査し、落札候補者を選定する。

なお、選定委員会での審査・評価にあたっては、応募者名称に換えて市が指定した色を記載し審査資料を用い、応募者名称を特定することができないよう匿名性を確保したうえで実施する。選定までの流れを、図 1.2 に示す。

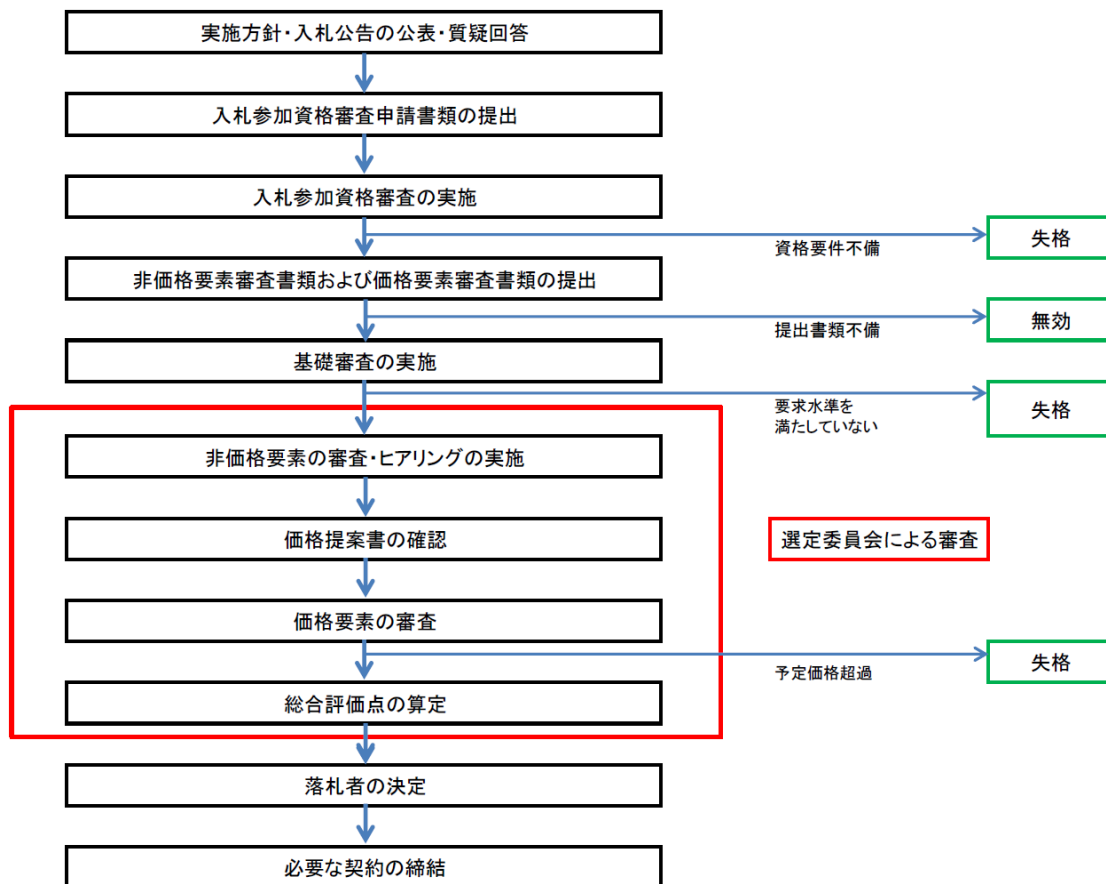


図 2.1 選定までの流れ

### 2.2 選定委員会の設置

市は、応募者からの技術提案書等の内容を専門的知見に基づいて審査をするため、表 2.1 に示す委員で構成する「草津市新クリーンセンター運営管理業者選定委員会」を設置した。

表 2.1 草津市新クリーンセンター運営管理業者選定委員会委員名簿

氏名	所属等
荒井 喜久雄	公益社団法人全国都市清掃会議 技術指導部長
金谷 健	滋賀県立大学環境科学部教授
田中 正志	公認会計士
吉原 福全	立命館大学理工学部教授

敬称略 50音順

## II. 審査方法等

### 3. 入札参加資格審査

市は、応募者から提出された「入札参加資格審査申請書」を基に、各応募者が入札参加資格要件を満たしているかの審査を実施する。

### 4. 非価格要素審査

#### 4.1 基礎審査

市は、応募者から提出された「技術提案書」、「業務概要書」について、市が求める要求水準を満たしているかの審査を実施する。

#### 4.2 審査項目と配点

選定委員会が審査を行うものとし、審査項目及び配点は表 4.1 に示すとおりする。

非価格要素審査による得点が総合評価の値となるため、配点及び得点化基準については、本件業務における必要性及び重要性を勘案し、応募者が有するべき技術力及び創意工夫を期待する度合いにより設定した。

表 4.1 審査項目及び配点

審査項目			配点	
大項目	中項目	小項目		
非価格 要素審査	受注実績	・一般廃棄物焼却施設の運営事業の受注実績	5	5
	業務実施体制	・本件業務に取り組むための基本理念 ・本件業務に取り組むための具体的配慮事項	2	6
		・業務責任者の役割 ・法定有資格者の配置および運営人員体制 ・代表企業および構成員等の役割分担	4	
		・運転計画における配慮事項 ・セルフモニタリング計画	3	
	運転管理業務 にかかる計画	・公害防止基準等(排ガス等)の運転基準値を確実に満足するための工夫 ・用役使用量(電気・水・燃料・薬剤等)の環境負荷低減に向けた考え方 ・低炭素社会形成に向けた工夫 ・効果的な発電方策	3	9
		・点検計画の適切性	3	
		・補修計画の適切性	3	
	維持管理業務 にかかる計画	・施設の安全対策に対する考え方 ・運営期間(通常時)の安全対策 ・運営期間(非常時)の安全対策 ・プラントの事故対応に対する考え方	2	8
		・労働安全衛生の考え方 ・作業環境の保全	4	
		・SPC のキャッシュフロー計画 ・SPC のリスクヘッジ方策 ・付保する保険	2	
	財政的な 安定性	・地元雇用の計画 ・地元業者への発注計画	3	8
		・来場者への対応	3	
	地域への配慮	・上記以外の創意工夫点	2	6
その他		・上記以外の創意工夫点	2	
合 計			50	



### 4.3 審査における評価の視点

各審査項目における評価の視点は表 4.2 に示すとおりとする。

表 4.2 各審査項目における評価の視点

審査項目		対象施設	評価の視点
中項目	小項目		
受注実績	一般廃棄物焼却施設の運營業の受注実績	共通	・受注件数(DBO 含む)
業務実施体制	本件業務に取り組むための基本理念	共通	・市の状況を理解した内容となっているか
	本件業務に取り組むための具体的配慮事項		・提案内容の具体性・実現性
	業務責任者の役割		・業務責任者の役割についての理解度
	法定有資格者の配置および運営人員体制		・本件施設を運転・維持する上で十分な体制であるか
	代表企業および構成員等の役割分担		・構成員等の役割が適切であるか
運転管理業務にかかわる計画	運転計画における配慮事項	共通	・実績を踏まえた提案となっているか ・提案内容の具体性・実現性
	セルフモニタリング計画	焼却施設	
	公害防止基準等(排ガス等)の運転基準値を確実に満足するための工夫		
	用役使用量(電気・水・燃料・薬剤等)の環境負荷低減に向けた考え方	共通	
	低炭素社会形成に向けた工夫	焼却施設	
維持管理業務にかかわる計画	点検計画の適切性	共通	・実績を踏まえた提案となっているか ・提案内容の具体性・実現性
	補修計画の適切性		
リスクへの対応能力	施設の安全対策に対する考え方	共通	・実績を踏まえた提案となっているか ・リスク対策の妥当性
	運営期間(通常時)の安全対策		
	運営期間(非常時)の安全対策		
	プラントの事故対応に対する考え方		
	労働安全衛生の考え方		
	作業環境の保全		
財政的な安定性	SPC のキャッシュフロー計画	共通	・キャッシュフロー計画の妥当性
	SPC のリスクヘッジ方策		・リスク対策の妥当性
	付保する保険		・付保する保険の種類及び内容
地域への配慮	地元雇用の計画	共通	・提案内容の具体性・実現性
	地元業者への発注計画		
	来場者への対応		
その他	上記以外の創意工夫点	共通	・市の状況を理解した提案となっているか

### 4.4 非価格要素点の算出方法

各審査項目の評価点は、各審査項目の配点に、次に示す 5 段階評価における評価率を掛けることによって算出するものとする。

表 4.3 5 段階評価における評価率

評価段階	評価基準	評価率
A	要求水準を超える提案で、非常に大きな効果が期待できる。	1.00
B	A と C の中間程度。	0.75
C	要求水準を超える提案で、一定の効果が期待できる。	0.50
D	C と E の中間程度。	0.25
E	要求水準と同等の提案である。	0.00

## 5. ヒアリング

選定委員会は、事業に関する認識の齟齬を未然に解消し、応募者からの提案内容を正確に把握することを目的としてヒアリングを実施する。

なお、応募者の持つ独自のノウハウに関する内容も含まれることが想定されることから、非公開のもとで実施する。

### 5.1 ヒアリング実施日時

平成 29 年 5 月 31 日 11 : 00～12 : 00

### 5.2 ヒアリングの内容

事前に作成をしたヒアリング実施要領及び技術提案書に対する事前質問に基づき実施する。

## 6. 価格要素審査

価格要素審査は、応募者から提出された「価格提案書」に記載された入札金額を「価格要素点の算出方法」に従って点数化する。

### 6.1 価格要素点の算出方法

価格要素点は、次の算定式によって算出し、小数点以下

第 3 位を四捨五入した値とする。

なお、価格要素点を算出するにあたり、基準額（予定価格×80%）を設定する。

#### 価格要素点の算定式

① 最低入札価格 > 基準額の場合

価格要素点 = 配点（50 点）× 最低入札金額 / 応募者の入札金額

② 最低入札価格 ≤ 基準額の場合

価格要素点 = 配点（50 点）× 基準額 / 応募者の入札金額

※応募者から提出された「価格提案書」に記載された入札金額が、基準額以下の価格で入札を行った場合は、当該応募者の価格要素点は満点（50 点）とする。この場合は、その他の応募者（基準額を上回る価格で入札を行った者）の価格要素点の算定は、上記②の算定式で行う。

## 7. 総合評価値の算定

「非価格要素点」と「価格要素点」を加算して「総合評価点」を算出する。

応募者の非価格要素点（50 点満点） + 応募者の価格要素点（50 点満点） = 応募者の総合評価点

### Ⅲ.選定の経過及び審査結果

#### 8. 選定の経過

選定の経過を表 8.1 に示す。

表 8.1 選定の経過

日 程	内 容
平成 28 年 8 月 1 日 (月)	第 1 回草津市新クリーンセンター運転管理業者選定委員会
平成 28 年 10 月 17 日 (月)	第 2 回草津市新クリーンセンター運転管理業者選定委員会
平成 28 年 11 月 29 日 (火)	第 3 回草津市新クリーンセンター運転管理業者選定委員会
平成 28 年 12 月 16 日 (金)	実施方針公表
平成 28 年 12 月 19 日 (月)	第 4 回草津市新クリーンセンター運転管理業者選定委員会
平成 28 年 12 月 19 日 (月)	実施方針に対する質疑受付開始
平成 29 年 1 月 4 日 (水)	実施方針に対する質疑締切
平成 29 年 1 月 13 日 (金)	実施方針に対する質疑への回答
平成 29 年 1 月 23 日 (月)	入札公告
平成 29 年 1 月 24 日 (火)	募集要項に対する質疑受付開始
平成 29 年 2 月 3 日 (金)	募集要項に対する質疑締切
平成 29 年 2 月 13 日 (月)	募集要項に対する質疑への回答
平成 29 年 2 月 20 日 (月)	入札参加資格審査申し込み締切
平成 29 年 3 月 3 日 (金)	入札参加資格審査結果の通知
平成 29 年 3 月 6 日 (月)	技術提案書・入札書受付開始
平成 29 年 4 月 21 日 (金)	技術提案書・入札書受付締切
平成 29 年 5 月 9 日 (火)	基礎審査結果の通知
平成 29 年 5 月 17 日 (水)	ヒアリング実施要領および事前質問の送付
平成 29 年 5 月 31 日 (水)	第 5 回・第 6 回草津市新クリーンセンター運転管理業者選定委員会 ・ヒアリングの実施 ・非価格要素審査の実施 ・価格要素審査の実施 ・総合評価の実施および落札候補者の選定
平成 29 年 6 月 14 日 (水)	選定委員会から市へ審査講評の提出

## 9. 審査結果

### 9.1 入札参加資格審査

市は、「入札参加資格審査申請書」の提出のあった2者に対して入札参加資格審査を実施した。審査の結果、2者ともに入札参加資格要件を満たしていることを確認した。応募名称はそれぞれ「青」、「緑」とした。それぞれの応募者の構成などを表9.1に示す。

表 9.1 応募者の構成など

応募者名	メンバー構成	称号又は名称
青	代表企業	アイテック株式会社
	構成員	株式会社日本管財環境サービス
緑	代表企業	川崎重工業株式会社 関西支社
	構成員	株式会社シンキ、有限会社滋賀総業、大五産業株式会社、
	協力会社	有限会社滋賀環境センター、草津環境管理サービス企業組合

なお、平成29年3月10日付で、応募者「青」から入札辞退届の提出があった。

### 9.2 基礎審査

市は、技術提案書及び業務概要書の提出のあった「緑」1者に対して基礎審査を実施した。審査の結果、すべての項目において市が求める要求水準を満たしていることを確認した。

### 9.3 非価格要素審査

選定委員会は、「緑」1者に対して、非価格要素審査を実施した。

非価格要素審査結果を表9.2に示す。

表9.2 非価格要素審査結果

審査項目		対象施設	評価の視点	配点	「緑」得点
中項目	小項目				
受注実績	一般廃棄物焼却施設の運営事業の受注実績	共通	・受注件数(DBO含む)	5	5.00
業務実施体制	本件業務に取り組むための基本理念	共通	・市の状況を理解した内容となっているか	2	1.38
	本件業務に取り組むための具体的配慮事項		・提案内容の具体性・実現性		
	業務責任者の役割	共通	・業務責任者の役割についての理解度	4	2.75
	法定有資格者の配置及び運営人員体制		・本件施設を運転・維持する上で十分な体制であるか		
代表企業及び構成員等の役割分担	・構成員等の役割が適切であるか				
運転管理業務にかかる計画	運転計画における配慮事項	共通	・実績を踏まえた提案となっているか ・提案内容の具体性・実現性	3	2.06
	セルフモニタリング計画				
	公害防止基準等(排ガス等)の運転基準値を確実に満足するための工夫	焼却施設		3	1.50
	用役使用量(電気・水・燃料・薬剤等)の環境負荷低減に向けた考え方	共通		3	2.06
	低炭素社会形成に向けた工夫				
効果的な発電方策	焼却施設				
維持管理業務にかかる計画	点検計画の適切性	共通	・実績を踏まえた提案となっているか ・提案内容の具体性・実現性	3	1.88
	補修計画の適切性			3	1.88
リスクへの対応能力	施設の安全対策に対する考え方	共通	・実績を踏まえた提案となっているか ・リスク対策の妥当性	2	1.13
	運営期間(通常時)の安全対策	共通		4	2.75
	運営期間(非常時)の安全対策				
	プラントの事故対応に対する考え方				
	労働安全衛生の考え方	共通		2	1.25
作業環境の保全					
財政的な安定性	SPCのキャッシュフロー計画	共通	・キャッシュフロー計画の妥当性	3	2.25
	SPCのリスクヘッジ方策		・リスク対策の妥当性	3	2.06
	付保する保険		・付保する保険の種類及び内容	2	1.25
地域への配慮	地元雇用の計画	共通	・提案内容の具体性・実現性	4	3.00
	地元業者への発注計画				
	来場者への対応	共通		2	1.13
その他	上記以外の創意工夫点	共通	・市の状況を理解した提案となっているか	2	1.13
合計					34.46

## 9.4 価格要素審査

選定委員会は、「緑」1者に対して、価格要素点の算定式に基づき、価格要素審査を実施した。価格提案内容および価格要素審査結果を表9.3に示す。

表 9.3 価格提案内容および価格要素審査結果

価格提案内容(入札価格)【税抜】「緑」	価格要素審査結果「緑」
7,870,000,000 円 (予定価格:8,569,816,167 円)	50 点

## 9.5 総合評価及び落札候補者の選定

選定委員会は、「緑」1者に対して、総合評価を実施した。

総合評価結果を表9.4に示す。

選定委員会は、総合評価結果に基づき、「緑」を落札候補者として選定した。

表 9.4 総合評価

大項目	中項目	審査項目	「緑」 得点
		小項目	
非価格要素審査	受注実績	・一般廃棄物焼却施設の運営事業の受注実績	5.00
	業務実施体制	・本件業務に取り組むための基本理念 ・本件業務に取り組むための具体的配慮事項	1.38
		・業務責任者の役割 ・法定有資格者の配置及び運営人員体制 ・代表企業及び構成員等の役割分担	2.75
		・運転計画における配慮事項 ・セルフモニタリング計画	2.06
	運転管理業務にかかる計画	・公害防止基準等(排ガス等)の運転基準値を確実に満足するための工夫	1.50
		・用役使用量(電気・水・燃料・薬剤等)の環境負荷低減に向けた考え方 ・低炭素社会形成に向けた工夫 ・効果的な発電方策	2.06
		維持管理業務にかかる計画	・点検計画の適切性 ・補修計画の適切性
	リスクへの対応能力	・施設の安全対策に対する考え方 ・運営期間(通常時)の安全対策 ・運営期間(非常時)の安全対策 ・プラントの事故対応に対する考え方	1.13 2.75
		・労働安全衛生の考え方 ・作業環境の保全	1.25
		財政的な安定性	・SPCのキャッシュフロー計画
	・SPCのリスクヘッジ方策		2.06
	・付保する保険		1.25
	地域への配慮	・地元雇用の計画 ・地元業者への発注計画	3.00
		・来場者への対応	1.13
その他	・上記以外の創意工夫点	1.13	
価格要素審査	-	-	50.00
総合評価点			84.46

## IV. 審査講評

### 10. 審査講評

選定委員会は、落札者選定基準書に基づき技術提案書及び業務概要書を審査した。  
審査結果を審査講評として次に示す。

非価格要素審査において、応募者「緑」の提案内容は、多くの実績と豊富な経験に基づく実現性の高いもので、最新技術の導入提案もあり、市が求める要求水準を超えるものであった。

また、草津市が本施設の基本方針として掲げる「安全で安定した施設」「経済性・効率性を考慮した施設」「環境に配慮した施設」の3本の柱を十分に実現させることが可能であると判断された。

特に運転管理業務にかかる計画や財政的な安定性、地域への配慮などにおいて優れた提案があり、効果が期待されるものである。

次に、価格要素審査において、応募者「緑」の提案価格は予定価格の範囲内であった。

非価格要素評価点と価格評価点とを加算して総合評価点を算出した結果、応募者「緑」の総合評価点は84.46点となり、市の要求する水準を超えた優れた提案内容と判断されることから、選定委員会は応募者「緑」を落札候補者として選定した。

今回、優れた内容の提案がされた背景には、2者から入札参加資格審査申請書の提出があったことにより、競争性が働いたことも要因のひとつであると考えられる。

選定委員会は、本施設の管理・運営等を通じて、草津市と落札候補者が互いに連携し意思疎通を図りながら、地域との信頼関係を深めた中で、本施設が草津市の循環型社会の構築・推進に寄与し、環境の保全、エネルギーの創出、環境学習、人材育成といった面でも優れた効果を発揮することを期待している。

草津市は、15年という長期にわたってクリーンセンターの運転管理を委託することになるが、本業務の内容について専門的な技術を有する職員が確実なモニタリングを行うとともに、廃棄物処理施設の運営にかかる専門職としての技術を次代に継承できるよう取り組んでいただきたい。

また、応募者「緑」には、提案内容にもある「地元雇用」、「公害防止基準の遵守」、「売電等による経済性の向上」には特に注力し、意義ある運転管理業務の実現を目指していただきたい。

以上